



平成 22 年 8 月 9 日

各 位

株 式 会 社 コ ス モ ス 薬 品
代 表 取 締 役 社 長 宇 野 正 晃
(コード番号：3349 東証一部)
問 い 合 わ せ 先 専 務 取 締 役 小 野 幸 弘
管 理 本 部 長
T E L 092 - 433 - 0660 (代表)

(訂正・数値データ訂正あり)「平成22年5月期 決算短信」の一部訂正について

平成22年7月12日に発表いたしました「平成22年5月期 決算短信」につきまして、当社が基幹システムを委託している国内大手システム会社の運用ミスによる在庫の過小計上が発覚し、下記のとおり一部訂正がありましたのでお知らせいたします。

また、これに伴い、当該運用ミスの影響が及び平成22年5月期に係る第1四半期、第2四半期、第3四半期の決算短信についても訂正を行っております。

記

1．訂正の理由

当社は、売価還元低価法の計算を含む基幹業務システムの開発・運用全般を国内大手システム会社に委託しております。当社の平成22年5月期決算に関し、平成22年7月12日付けで決算短信を提出した後、更に有価証券報告書作成に向けて期末および翌期首月の数値の整合性についても検証を続けていたところ、当社にて売価還元原価率の異常に気付きました。その原因について調査を進めた結果、当該委託先のシステム会社の運用ミスにより、売価還元原価率計算の一部の項目について、平成21年6月中旬から計算誤りが発生しており、結果的に在庫が過小に評価されていたことが発覚したものであります。

このため、当該計算誤りが影響する決算短信について訂正を行うものであります。

2．訂正を行う決算短信等

当該計算誤りが影響する平成22年5月期に関する第1四半期決算短信、第2四半期決算短信、第3四半期決算短信及び平成22年5月期決算短信の訂正を行うものであります。

3．訂正箇所

訂正箇所については、__を付して表示しております。

以 上



平成22年5月期 決算短信

平成22年7月12日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 コスモス薬品
 コード番号 3349 URL <http://www.cosmospc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長
 定時株主総会開催予定日 平成22年8月26日
 有価証券報告書提出予定日 平成22年8月30日

(氏名) 宇野 正晃
 (氏名) 小野 幸弘
 配当支払開始予定日

TEL 092-433-0660
 平成22年8月27日

(百万円未満切捨て)

1. 22年5月期の連結業績 (平成21年6月1日～平成22年5月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年5月期	205,387	15.5	7,153	31.5	8,214	32.1	4,401	54.9
21年5月期	177,756	19.9	5,438	55.1	6,219	49.3	2,841	30.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
22年5月期	222.27		20.0	11.9	3.5
21年5月期	143.52		15.2	10.5	3.1

(参考) 持分法投資損益 22年5月期 百万円 21年5月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年5月期	72,982	24,097	33.0	1,217.06
21年5月期	64,894	19,993	30.8	1,009.77

(参考) 自己資本 22年5月期 24,097百万円 21年5月期 19,993百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
22年5月期	7,734	4,505	1,349	16,081
21年5月期	10,083	6,077	150	14,201

2. 配当の状況

	1株当たり配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
21年5月期		0.00		15.00	15.00	297	10.5	1.6
22年5月期		0.00		23.00	23.00	455	10.3	2.1
23年5月期 (予想)		0.00		23.00	23.00		12.5	

3. 23年5月期の連結業績予想 (平成22年6月1日～平成23年5月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	109,200	7.3	3,190	18.4	3,600	17.0	1,670	29.4	84.34
通期	222,000	8.1	6,600	7.7	7,400	9.9	3,650	17.1	184.34

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）無
 新規 社（社名） 除外 社（社名）

(2) 連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更に記載されるもの）

会計基準等の改正に伴う変更 有
 以外の変更 無

（注）詳細は、17ページ「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む） 22年5月期 20,000,400株 21年5月期 20,000,400株
 期末自己株式数 22年5月期 200,363株 21年5月期 200,296株

（注）1株当たり当期純利益（連結）の算定の基礎となる株式数については、28ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

（参考）個別業績の概要

1. 22年5月期の個別業績（平成21年6月1日～平成22年5月31日）

(1) 個別経営成績 （%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年5月期	205,381	15.5	6,930	36.3	8,011	36.0	4,286	61.5
21年5月期	177,751	19.9	5,084	45.3	5,890	41.9	2,653	21.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
22年5月期	216.48	
21年5月期	134.03	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年5月期	72,522	23,658	32.6	1,194.86
21年5月期	64,632	19,668	30.4	993.37

（参考）自己資本 22年5月期 23,658百万円 21年5月期 19,668百万円

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因等により大きく異なる可能性があります。
 業績予想の前提となる仮定については、4ページをご覧ください。

【訂正後】



平成22年5月期 決算短信

平成22年7月12日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 コスモス薬品
 コード番号 3349 URL <http://www.cosmospc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長
 定時株主総会開催予定日 平成22年8月30日
 有価証券報告書提出予定日 平成22年8月31日

(氏名) 宇野 正晃
 (氏名) 小野 幸弘
 配当支払開始予定日

TEL 092-433-0660
 平成22年8月31日

(百万円未満切捨て)

1. 22年5月期の連結業績 (平成21年6月1日～平成22年5月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年5月期	205,387	15.5	7,741	42.4	8,802	41.5	4,712	65.8
21年5月期	177,756	19.9	5,438	55.1	6,219	49.3	2,841	30.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
22年5月期	238.00		21.2	12.7	3.8
21年5月期	143.52		15.2	10.5	3.1

(参考) 持分法投資損益 22年5月期 百万円 21年5月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年5月期	73,589	24,409	33.2	1,232.78
21年5月期	64,894	19,993	30.8	1,009.77

(参考) 自己資本 22年5月期 24,409百万円 21年5月期 19,993百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
22年5月期	7,734	4,505	1,349	16,081
21年5月期	10,083	6,077	150	14,201

2. 配当の状況

	1株当たり配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
21年5月期		0.00		15.00	15.00	297	10.5	1.6
22年5月期		0.00		23.00	23.00	455	9.7	2.1
23年5月期 (予想)		0.00		23.00	23.00		12.5	

3. 23年5月期の連結業績予想 (平成22年6月1日～平成23年5月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	109,200	7.3	3,190	28.3	3,600	26.2	1,670	37.4	84.34
通期	222,000	8.1	6,600	14.7	7,400	15.9	3,650	22.5	184.34

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）無
 新規 社（社名） 除外 社（社名）

(2) 連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更に記載されるもの）

会計基準等の改正に伴う変更 有
 以外の変更 無

（注）詳細は、17ページ「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む） 22年5月期 20,000,400株 21年5月期 20,000,400株
 期末自己株式数 22年5月期 200,363株 21年5月期 200,296株

（注）1株当たり当期純利益（連結）の算定の基礎となる株式数については、28ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

（参考）個別業績の概要

1. 22年5月期の個別業績（平成21年6月1日～平成22年5月31日）

(1) 個別経営成績 （%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年5月期	205,381	15.5	7,518	47.9	8,599	46.0	4,597	73.2
21年5月期	177,751	19.9	5,084	45.3	5,890	41.9	2,653	21.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
22年5月期	232.20	
21年5月期	134.03	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年5月期	73,128	23,969	32.8	1,210.59
21年5月期	64,632	19,668	30.4	993.37

（参考）自己資本 22年5月期 23,969百万円 21年5月期 19,668百万円

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因等により大きく異なる可能性があります。
 業績予想の前提となる仮定については、4ページをご覧ください。

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

当期の経営成績

当連結会計年度におけるわが国の経済は、世界的な景気後退の影響による企業業績の悪化等で、非常に厳しい状況となりました。雇用情勢の悪化や所得の減少等により個人消費は伸び悩み、そして、販売不振による価格の下落が更に企業業績の悪化を招くデフレの進行が顕著となりました。

このような状況の中、当社グループは消費者にとって最も近くて便利なドラッグストアを目指して力を注いでまいりました。また、消費者の低価格志向に応えるために、「良いものをより安く」提供することこそ小売業の使命という認識に立ち、業務改革を続けてまいりました。

具体的には、トータルな仕組みづくりによって経費抑制を図り、それを原資にディスカウント戦略を推進いたしました。これにより、売上総利益率は 1.1 ポイント 下落し 19.2% となりました。しかしながら、ディスカウント戦略が消費者に認知されたことに加え、新型インフルエンザの流行による予防商品の需要拡大があったこと、更には九州地区及び中国四国地区に台風の上陸もなく天候に恵まれたこと等の要因により、既存店の売上高は前年に比べ 4.2% 増加いたしました。

売上高に対する販売費及び一般管理費の比率は、経費抑制の効果に加え売上高の伸長により、1.5 ポイント 改善し 15.7% となりました。これにより営業利益率は 3.5% となりました。

新規出店につきましては、九州地区に 23 店、中国四国地区に 10 店、兵庫県への初進出により関西地区に 1 店、合計 34 店を開設いたしました。また、調剤薬局を 1 局閉店いたしました。これにより、当連結会計年度末の店舗数は 356 店となりました。また、102 店の棚替・改装を行い、既存店の活性化を図ってまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高 2,053 億 87 百万円（前年同期比 15.5% 増）、営業利益 71 億 53 百万円（前年同期比 31.5% 増）、経常利益 82 億 14 百万円（前年同期比 32.1% 増）、当期純利益 44 億 1 百万円（前年同期比 54.9% 増）となり、過去最高益を更新いたしました。

【訂正後】

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

当期の経営成績

当連結会計年度におけるわが国の経済は、世界的な景気後退の影響による企業業績の悪化等で、非常に厳しい状況となりました。雇用情勢の悪化や所得の減少等により個人消費は伸び悩み、そして、販売不振による価格の下落が更に企業業績の悪化を招くデフレの進行が顕著となりました。

このような状況の中、当社グループは消費者にとって最も近くて便利なドラッグストアを目指して力を注いでまいりました。また、消費者の低価格志向に応えるために、「良いものをより安く」提供することこそ小売業の使命という認識に立ち、業務改革を続けてまいりました。

具体的には、トータルな仕組みづくりによって経費抑制を図り、それを原資にディスカウント戦略を推進いたしました。これにより、売上総利益率は 0.8 ポイント 下落し 19.5% となりました。しかしながら、ディスカウント戦略が消費者に認知されたことに加え、新型インフルエンザの流行による予防商品の需要拡大があったこと、更には九州地区及び中国四国地区に台風の上陸もなく天候に恵まれたこと等の要因により、既存店の売上高は前年に比べ 4.2% 増加いたしました。

売上高に対する販売費及び一般管理費の比率は、経費抑制の効果に加え売上高の伸長により、1.5 ポイント 改善し 15.7% となりました。これにより営業利益率は 3.8% となりました。

新規出店につきましては、九州地区に 23 店、中国四国地区に 10 店、兵庫県への初進出により関西地区に 1 店、合計 34 店を開店いたしました。また、調剤薬局を 1 局閉店いたしました。これにより、当連結会計年度末の店舗数は 356 店となりました。また、102 店の棚替・改装を行い、既存店の活性化を図ってまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高 2,053 億 87 百万円（前年同期比 15.5% 増）、営業利益 77 億 41 百万円（前年同期比 42.4% 増）、経常利益 88 億 2 百万円（前年同期比 41.5% 増）、当期純利益 47 億 12 百万円（前年同期比 65.8% 増）となり、過去最高益を更新いたしました。

【訂正前】 4 ページ

(2) 財政状態に関する分析

資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

当連結会計年度末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて12.8%増加し、373億39百万円となりました。これは主に、現金及び預金、商品等の増加によるものであります。(なお、現金及び預金の詳しい内容につきましては、15ページの連結キャッシュ・フロー計算書をご参照下さい。)

固定資産は、建物及び構築物、土地、リース資産等の有形固定資産の取得等により前連結会計年度末に比べて12.1%増加し、356億43百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて12.5%増加し、729億82百万円となりました。

(ロ) 負債

当連結会計年度末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて12.3%増加し、414億54百万円となりました。これは主に、買掛金、未払金、未払法人税等の増加によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて7.0%減少し、74億30百万円となりました。これは主に、長期借入金の減少によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて8.9%増加し、488億84百万円となりました。

(ハ) 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて20.5%増加し、240億97百万円となりました。これは主に、利益剰余金が41億4百万円増加したことによるものであります。

【訂正後】

(2) 財政状態に関する分析

資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

当連結会計年度末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて14.6%増加し、379億45百万円となりました。これは主に、現金及び預金、商品等の増加によるものであります。(なお、現金及び預金の詳しい内容につきましては、15ページの連結キャッシュ・フロー計算書をご参照下さい。)

固定資産は、建物及び構築物、土地、リース資産等の有形固定資産の取得等により前連結会計年度末に比べて12.1%増加し、356億43百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて13.4%増加し、735億89百万円となりました。

(ロ) 負債

当連結会計年度末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて13.1%増加し、417億49百万円となりました。これは主に、買掛金、未払金、未払法人税等の増加によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて7.0%減少し、74億30百万円となりました。これは主に、長期借入金の減少によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて9.5%増加し、491億79百万円となりました。

(ハ) 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて22.1%増加し、244億9百万円となりました。これは主に、利益剰余金が44億15百万円増加したことによるものであります。

【訂正前】 5 ページ

キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて18億79百万円増加し、当連結会計年度末には160億81百万円（前連結会計年度比13.2%増）となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は77億34百万円（前連結会計年度比23.3%減）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益81億67百万円、仕入債務の増加27億45百万円、減価償却費18億57百万円等の増加要因、たな卸資産の増加22億77百万円等の減少要因によるものであります。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、使用した資金は45億5百万円（前連結会計年度比25.9%減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出36億59百万円、敷金及び保証金の差入による支出9億56百万円、建設協力金の支払による支出4億41百万円、有形固定資産の譲渡による収入3億8百万円等によるものであります。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、支出した資金は13億49百万円となりました。これは主に、長期借入れによる収入20億円、長期借入金の返済による支出27億39百万円、配当金の支払額2億97百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出3億12百万円等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成18年5月期	平成19年5月期	平成20年5月期	平成21年5月期	平成22年5月期
自己資本比率(%)	35.5	35.2	32.1	30.8	<u>33.0</u>
時価ベースの自己資本比率(%)	162.4	93.0	42.1	44.2	<u>53.5</u>
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	1.4	2.6	1.1	1.0	1.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	35.4	26.8	62.8	77.4	55.2

自己資本比率：自己資本 / 総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額 / 総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債 / キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー / 利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

【訂正後】

キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて18億79百万円増加し、当連結会計年度末には160億81百万円（前連結会計年度比13.2%増）となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（イ） 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は77億34百万円（前連結会計年度比23.3%減）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益87億55百万円、仕入債務の増加27億45百万円、減価償却費18億57百万円等の増加要因、たな卸資産の増加28億65百万円等の減少要因によるものであります。

（ロ） 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、使用した資金は45億5百万円（前連結会計年度比25.9%減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出36億59百万円、敷金及び保証金の差入による支出9億56百万円、建設協力金の支払による支出4億41百万円、有形固定資産の譲渡による収入3億8百万円等によるものであります。

（ハ） 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、支出した資金は13億49百万円となりました。これは主に、長期借入れによる収入20億円、長期借入金の返済による支出27億39百万円、配当金の支払額2億97百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出3億12百万円等によるものであります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成18年5月期	平成19年5月期	平成20年5月期	平成21年5月期	平成22年5月期
自己資本比率（％）	35.5	35.2	32.1	30.8	<u>33.2</u>
時価ベースの自己資本比率（％）	162.4	93.0	42.1	44.2	<u>53.0</u>
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	1.4	2.6	1.1	1.0	1.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	35.4	26.8	62.8	77.4	55.2

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注1）いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

（注2）株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

（注3）キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

（注4）有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

【訂正前】 7 ページ

(4) 事業等のリスク

差入敷金保証金及び建設協力金について

当社グループでは、賃貸による出店を基本としております。このため、店舗用物件の契約時に賃貸人に対し敷金、保証金及び建設協力金を差し入れております。また、一部の仕入先に対しては取引保証金を差し入れております。

当連結会計年度末現在において、敷金の残高は58億2百万円（連結総資産に対する割合8.0%）、建設協力金の残高39億98百万円（連結総資産に対する割合5.5%）、及び差入保証金の残高21億72百万円（連結総資産に対する割合3.0%）であります。当該敷金は期間満了等による賃貸借契約解約時に契約に従い返還されることとなっております。また、建設協力金及び差入保証金の一部は支払家賃と相殺する形で契約期間満了時まで全額回収する契約となっております。

一方、差入保証金のうち商品の取引保証に関する残高は36百万円であり、商取引を停止した時点で返還される契約となっております。

しかしながら、敷金、差入保証金、建設協力金については預託先の経済的破綻等により、その一部または全額が回収できなくなる可能性があります。また、敷金、差入保証金、建設協力金については、契約時に定められた期間満了前に中途解約した場合は契約条件によって返還されない可能性があります。

【訂正後】

(4) 事業等のリスク

差入敷金保証金及び建設協力金について

当社グループでは、賃貸による出店を基本としております。このため、店舗用物件の契約時に賃貸人に対し敷金、保証金及び建設協力金を差し入れております。また、一部の仕入先に対しては取引保証金を差し入れております。

当連結会計年度末現在において、敷金の残高は58億2百万円（連結総資産に対する割合7.9%）、建設協力金の残高39億98百万円（連結総資産に対する割合5.4%）、及び差入保証金の残高21億72百万円（連結総資産に対する割合3.0%）であります。当該敷金は期間満了等による賃貸借契約解約時に契約に従い返還されることとなっております。また、建設協力金及び差入保証金の一部は支払家賃と相殺する形で契約期間満了時まで全額回収する契約となっております。

一方、差入保証金のうち商品の取引保証に関する残高は36百万円であり、商取引を停止した時点で返還される契約となっております。

しかしながら、敷金、差入保証金、建設協力金については預託先の経済的破綻等により、その一部または全額が回収できなくなる可能性があります。また、敷金、差入保証金、建設協力金については、契約時に定められた期間満了前に中途解約した場合は契約条件によって返還されない可能性があります。

【訂正前】10ページ

4. 連結財務諸表

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成21年5月31日)	当連結会計年度 (平成22年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,201	16,081
売掛金	33	31
商品	16,355	18,619
貯蔵品	78	92
前払費用	629	735
繰延税金資産	418	424
未収入金	1,065	1,108
その他	322	244
貸倒引当金	0	-
流動資産合計	33,105	37,339
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1 16,778	1 19,518
減価償却累計額	3,702	4,797
建物及び構築物（純額）	13,075	14,721
機械装置及び運搬具	345	351
減価償却累計額	180	221
機械装置及び運搬具（純額）	164	130
工具、器具及び備品	1,347	1,939
減価償却累計額	912	1,146
工具、器具及び備品（純額）	435	793
土地	1 3,534	1 4,066
リース資産	1,175	1,987
減価償却累計額	135	442
リース資産（純額）	1,040	1,544
建設仮勘定	743	317
有形固定資産合計	18,993	21,573
無形固定資産		
リース資産	53	41
その他	376	441
無形固定資産合計	430	483
投資その他の資産		
投資有価証券	12	13
繰延税金資産	262	269
建設協力金	3,875	3,998
敷金及び保証金	7,112	7,975
その他	1,101	1,330
投資その他の資産合計	12,364	13,586
固定資産合計	31,789	35,643
資産合計	64,894	72,982
負債の部		
流動負債		
買掛金	28,890	31,636

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成21年5月31日)		当連結会計年度 (平成22年5月31日)	
短期借入金	1	2,549	1	2,825
リース債務		253		371
未払金		1,458		1,826
未払費用		1,705		1,530
未払法人税等		1,648		<u>2,635</u>
未払消費税等		97		437
店舗閉鎖損失引当金		16		12
その他		292		179
流動負債合計		<u>36,913</u>		<u>41,454</u>
固定負債				
長期借入金	1	6,350	1	5,334
リース債務		902		1,323
退職給付引当金		184		220
その他		550		550
固定負債合計		<u>7,987</u>		<u>7,430</u>
負債合計		<u>44,900</u>		<u>48,884</u>
純資産の部				
株主資本				
資本金		4,178		4,178
資本剰余金		4,610		4,610
利益剰余金		11,437		<u>15,541</u>
自己株式		234		234
株主資本合計		<u>19,991</u>		<u>24,095</u>
評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金		1		2
評価・換算差額等合計		<u>1</u>		<u>2</u>
純資産合計		<u>19,993</u>		<u>24,097</u>
負債純資産合計		<u>64,894</u>		<u>72,982</u>

【訂正後】

4. 連結財務諸表

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成21年5月31日)	当連結会計年度 (平成22年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,201	16,081
売掛金	33	31
商品	16,355	19,207
貯蔵品	78	92
前払費用	629	735
繰延税金資産	418	442
未収入金	1,065	1,108
その他	322	244
貸倒引当金	0	-
流動資産合計	33,105	37,945
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1 16,778	1 19,518
減価償却累計額	3,702	4,797
建物及び構築物（純額）	13,075	14,721
機械装置及び運搬具	345	351
減価償却累計額	180	221
機械装置及び運搬具（純額）	164	130
工具、器具及び備品	1,347	1,939
減価償却累計額	912	1,146
工具、器具及び備品（純額）	435	793
土地	1 3,534	1 4,066
リース資産	1,175	1,987
減価償却累計額	135	442
リース資産（純額）	1,040	1,544
建設仮勘定	743	317
有形固定資産合計	18,993	21,573
無形固定資産		
リース資産	53	41
その他	376	441
無形固定資産合計	430	483
投資その他の資産		
投資有価証券	12	13
繰延税金資産	262	269
建設協力金	3,875	3,998
敷金及び保証金	7,112	7,975
その他	1,101	1,330
投資その他の資産合計	12,364	13,586
固定資産合計	31,789	35,643
資産合計	64,894	73,589
負債の部		
流動負債		
買掛金	28,890	31,636

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成21年 5月31日)		当連結会計年度 (平成22年 5月31日)	
短期借入金	1	2,549	1	2,825
リース債務		253		371
未払金		1,458		1,826
未払費用		1,705		1,530
未払法人税等		1,648		<u>2,930</u>
未払消費税等		97		437
店舗閉鎖損失引当金		16		12
その他		292		179
流動負債合計		<u>36,913</u>		<u>41,749</u>
固定負債				
長期借入金	1	6,350	1	5,334
リース債務		902		1,323
退職給付引当金		184		220
その他		550		550
固定負債合計		<u>7,987</u>		<u>7,430</u>
負債合計		<u>44,900</u>		<u>49,179</u>
純資産の部				
株主資本				
資本金		4,178		4,178
資本剰余金		4,610		4,610
利益剰余金		11,437		<u>15,852</u>
自己株式		234		234
株主資本合計		<u>19,991</u>		<u>24,406</u>
評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金		1		2
評価・換算差額等合計		<u>1</u>		<u>2</u>
純資産合計		<u>19,993</u>		<u>24,409</u>
負債純資産合計		<u>64,894</u>		<u>73,589</u>

【訂正前】12ページ
 (2) 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	(自 平成20年6月1日 至 平成21年5月31日)		(自 平成21年6月1日 至 平成22年5月31日)	
売上高		177,756		205,387
売上原価		141,741		<u>165,911</u>
売上総利益		36,014		<u>39,475</u>
販売費及び一般管理費	1	30,576	1	32,321
営業利益		5,438		<u>7,153</u>
営業外収益				
受取利息		108		103
受取手数料		257		310
不動産賃貸料		273		322
協賛金収入		92		73
固定資産受贈益		144		268
その他		230		287
営業外収益合計		1,105		1,367
営業外費用				
支払利息		130		141
不動産賃貸原価		142		135
その他		52		30
営業外費用合計		324		306
経常利益		6,219		<u>8,214</u>
特別利益				
固定資産売却益	2	2	2	0
特別利益合計		2		0
特別損失				
固定資産売却損	3	3	3	-
固定資産除却損	4	15	4	14
たな卸資産評価損		866		-
賃貸借契約解約損		6		-
店舗閉鎖損失引当金繰入額		-		12
減損損失	5	4	5	19
特別損失合計		895		46
税金等調整前当期純利益		5,326		<u>8,167</u>
法人税、住民税及び事業税		2,631		<u>3,779</u>
法人税等調整額		146		<u>13</u>
法人税等合計		2,484		<u>3,766</u>
当期純利益		2,841		<u>4,401</u>

【訂正後】

(2) 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	自	平成20年6月1日 至 平成21年5月31日)	自	平成21年6月1日 至 平成22年5月31日)
売上高		177,756		205,387
売上原価		141,741		<u>165,323</u>
売上総利益		36,014		<u>40,063</u>
販売費及び一般管理費	1	30,576	1	32,321
営業利益		5,438		<u>7,741</u>
営業外収益				
受取利息		108		103
受取手数料		257		310
不動産賃貸料		273		322
協賛金収入		92		73
固定資産受贈益		144		268
その他		230		287
営業外収益合計		1,105		1,367
営業外費用				
支払利息		130		141
不動産賃貸原価		142		135
その他		52		30
営業外費用合計		324		306
経常利益		6,219		<u>8,802</u>
特別利益				
固定資産売却益	2	2	2	0
特別利益合計		2		0
特別損失				
固定資産売却損	3	3	3	-
固定資産除却損	4	15	4	14
たな卸資産評価損		866		-
賃貸借契約解約損		6		-
店舗閉鎖損失引当金繰入額		-		12
減損損失	5	4	5	19
特別損失合計		895		46
税金等調整前当期純利益		5,326		<u>8,755</u>
法人税、住民税及び事業税		2,631		<u>4,074</u>
法人税等調整額		146		<u>31</u>
法人税等合計		2,484		<u>4,043</u>
当期純利益		2,841		<u>4,712</u>

(3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	(自 平成20年6月1日 至 平成21年5月31日)		(自 平成21年6月1日 至 平成22年5月31日)	
株主資本				
資本金				
前期末残高		4,178		4,178
当期末残高		4,178		4,178
資本剰余金				
前期末残高		4,610		4,610
当期末残高		4,610		4,610
利益剰余金				
前期末残高		8,793		11,437
当期変動額				
剰余金の配当		198		297
当期純利益		2,841		4,401
当期変動額合計		2,643		4,104
当期末残高		11,437		15,541
自己株式				
前期末残高		234		234
当期変動額				
自己株式の取得		-		0
当期変動額合計		-		0
当期末残高		234		234
株主資本合計				
前期末残高		17,348		19,991
当期変動額				
剰余金の配当		198		297
当期純利益		2,841		4,401
自己株式の取得		-		0
当期変動額合計		2,643		4,103
当期末残高		19,991		24,095
評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金				
前期末残高		3		1
当期変動額				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		1		0
当期変動額合計		1		0
当期末残高		1		2
評価・換算差額等合計				
前期末残高		3		1
当期変動額				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		1		0
当期変動額合計		1		0
当期末残高		1		2
純資産合計				
前期末残高		17,351		19,993
当期変動額				
剰余金の配当		198		297

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成20年6月1日 至 平成21年5月31日)	当連結会計年度 (自 平成21年6月1日 至 平成22年5月31日)
当期純利益	2,841	4,401
自己株式の取得	-	0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	1	0
当期変動額合計	2,641	4,104
当期末残高	19,993	24,097

【訂正後】

(3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	(自 平成20年6月1日 至 平成21年5月31日)		(自 平成21年6月1日 至 平成22年5月31日)	
株主資本				
資本金				
前期末残高		4,178		4,178
当期末残高		4,178		4,178
資本剰余金				
前期末残高		4,610		4,610
当期末残高		4,610		4,610
利益剰余金				
前期末残高		8,793		11,437
当期変動額				
剰余金の配当		198		297
当期純利益		2,841		4,712
当期変動額合計		2,643		4,415
当期末残高		11,437		15,852
自己株式				
前期末残高		234		234
当期変動額				
自己株式の取得		-		0
当期変動額合計		-		0
当期末残高		234		234
株主資本合計				
前期末残高		17,348		19,991
当期変動額				
剰余金の配当		198		297
当期純利益		2,841		4,712
自己株式の取得		-		0
当期変動額合計		2,643		4,415
当期末残高		19,991		24,406
評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金				
前期末残高		3		1
当期変動額				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		1		0
当期変動額合計		1		0
当期末残高		1		2
評価・換算差額等合計				
前期末残高		3		1
当期変動額				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		1		0
当期変動額合計		1		0
当期末残高		1		2
純資産合計				
前期末残高		17,351		19,993
当期変動額				
剰余金の配当		198		297

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成20年6月1日 至 平成21年5月31日)	当連結会計年度 (自 平成21年6月1日 至 平成22年5月31日)
当期純利益	2,841	4,712
自己株式の取得	-	0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	1	0
当期変動額合計	2,641	4,415
当期末残高	19,993	24,409

【訂正前】15ページ

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成20年6月1日 至 平成21年5月31日)	当連結会計年度 (自 平成21年6月1日 至 平成22年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	5,326	8,167
減価償却費	1,422	1,857
減損損失	4	19
貸倒引当金の増減額(は減少)	0	0
退職給付引当金の増減額(は減少)	30	36
店舗閉鎖損失引当金の増減額(は減少)	-	4
受取利息及び受取配当金	108	104
支払利息	130	141
固定資産売却損益(は益)	0	0
固定資産除却損	15	14
賃貸借契約解約損	6	-
売上債権の増減額(は増加)	4	1
たな卸資産の増減額(は増加)	1,680	2,277
未収入金の増減額(は増加)	1,025	42
仕入債務の増減額(は減少)	5,725	2,745
その他	373	162
小計	12,277	10,717
利息及び配当金の受取額	12	3
利息の支払額	130	140
法人税等の支払額	2,076	2,845
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,083	7,734
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	5,193	3,659
有形固定資産の譲渡による収入	736	308
建設協力金の支払による支出	565	441
建設協力金の回収による収入	272	296
敷金及び保証金の差入による支出	1,046	956
敷金及び保証金の回収による収入	65	76
その他	347	129
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,077	4,505
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	3,500	2,000
長期借入金の返済による支出	3,007	2,739
自己株式の取得による支出	-	0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	144	312
配当金の支払額	197	297
財務活動によるキャッシュ・フロー	150	1,349
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	4,156	1,879
現金及び現金同等物の期首残高	10,045	14,201
現金及び現金同等物の期末残高	14,201	16,081

【訂正後】

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成20年6月1日 至 平成21年5月31日)	当連結会計年度 (自 平成21年6月1日 至 平成22年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	5,326	8,755
減価償却費	1,422	1,857
減損損失	4	19
貸倒引当金の増減額(は減少)	0	0
退職給付引当金の増減額(は減少)	30	36
店舗閉鎖損失引当金の増減額(は減少)	-	4
受取利息及び受取配当金	108	104
支払利息	130	141
固定資産売却損益(は益)	0	0
固定資産除却損	15	14
賃貸借契約解約損	6	-
売上債権の増減額(は増加)	4	1
たな卸資産の増減額(は増加)	1,680	2,865
未収入金の増減額(は増加)	1,025	42
仕入債務の増減額(は減少)	5,725	2,745
その他	373	162
小計	12,277	10,717
利息及び配当金の受取額	12	3
利息の支払額	130	140
法人税等の支払額	2,076	2,845
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,083	7,734
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	5,193	3,659
有形固定資産の譲渡による収入	736	308
建設協力金の支払による支出	565	441
建設協力金の回収による収入	272	296
敷金及び保証金の差入による支出	1,046	956
敷金及び保証金の回収による収入	65	76
その他	347	129
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,077	4,505
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	3,500	2,000
長期借入金の返済による支出	3,007	2,739
自己株式の取得による支出	-	0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	144	312
配当金の支払額	197	297
財務活動によるキャッシュ・フロー	150	1,349
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	4,156	1,879
現金及び現金同等物の期首残高	10,045	14,201
現金及び現金同等物の期末残高	14,201	16,081

【訂正前】23ページ

(連結損益計算書関係)

前連結会計年度 (自 平成20年 6月 1日 至 平成21年 5月31日)	当連結会計年度 (自 平成21年 6月 1日 至 平成22年 5月31日)																																									
<p>5 減損損失について</p> <p>(1) 概要</p> <p>減損損失の内容は次のとおりであります。</p> <p>当連結会計年度において、以下の資産について減損損失を計上しております。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>用途</th> <th>種類</th> <th>場所</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>店舗</td> <td>建物及び構築物等</td> <td>宮崎県</td> <td>1</td> <td>1百万円</td> </tr> <tr> <td>店舗</td> <td>リース資産等</td> <td>鹿児島県</td> <td>2</td> <td>2百万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小の単位として、店舗ごとに資産のグルーピングをしております。</p> <p>営業活動から生じる損益が継続してマイナスとなっている店舗や土地の時価の下落が著しい店舗等を対象とし、回収可能価額が帳簿価額を下回るものについて当該帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減少額を減損損失として特別損失に計上しております。</p> <p>(2) 減損損失の金額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>固定資産の種類</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建物及び構築物</td> <td>1百万円</td> </tr> <tr> <td>工具、器具及び備品</td> <td>0百万円</td> </tr> <tr> <td>リース資産</td> <td>2百万円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4百万円</td> </tr> </tbody> </table>	用途	種類	場所	件数	金額	店舗	建物及び構築物等	宮崎県	1	1百万円	店舗	リース資産等	鹿児島県	2	2百万円	固定資産の種類	金額	建物及び構築物	1百万円	工具、器具及び備品	0百万円	リース資産	2百万円	合計	4百万円	<p>5 減損損失について</p> <p>(1) 概要</p> <p>減損損失の内容は次のとおりであります。</p> <p>当連結会計年度において、以下の資産について減損損失を計上しております。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>用途</th> <th>種類</th> <th>場所</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>店舗</td> <td>建物及び構築物</td> <td>宮崎県</td> <td>1</td> <td>19百万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小の単位として、店舗ごとに資産のグルーピングをしております。</p> <p>営業活動から生じる損益が継続してマイナスとなっている店舗や土地の時価の下落が著しい店舗等を対象とし、回収可能価額が帳簿価額を下回るものについて当該帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減少額を減損損失として特別損失に計上しております。</p> <p>(2) 減損損失の金額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>固定資産の種類</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建物及び構築物</td> <td>19百万円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>19百万円</td> </tr> </tbody> </table>	用途	種類	場所	件数	金額	店舗	建物及び構築物	宮崎県	1	19百万円	固定資産の種類	金額	建物及び構築物	19百万円	合計	19百万円
用途	種類	場所	件数	金額																																						
店舗	建物及び構築物等	宮崎県	1	1百万円																																						
店舗	リース資産等	鹿児島県	2	2百万円																																						
固定資産の種類	金額																																									
建物及び構築物	1百万円																																									
工具、器具及び備品	0百万円																																									
リース資産	2百万円																																									
合計	4百万円																																									
用途	種類	場所	件数	金額																																						
店舗	建物及び構築物	宮崎県	1	19百万円																																						
固定資産の種類	金額																																									
建物及び構築物	19百万円																																									
合計	19百万円																																									
<p>(3) 回収可能価額の算定方法</p> <p>回収可能価額は使用価値により測定し、将来キャッシュ・フローを2.43%の割引率で割り引いて計算しております。</p>	<p>(3) 回収可能価額の算定方法</p> <p>回収可能価額は使用価値により測定し、将来キャッシュ・フローを3.35%の割引率で割り引いて計算しております。</p>																																									

【訂正後】

(連結損益計算書関係)

前連結会計年度 (自 平成20年6月1日 至 平成21年5月31日)	当連結会計年度 (自 平成21年6月1日 至 平成22年5月31日)																																									
<p>5 減損損失について</p> <p>(1) 概要</p> <p>減損損失の内容は次のとおりであります。</p> <p>当連結会計年度において、以下の資産について減損損失を計上しております。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>用途</th> <th>種類</th> <th>場所</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>店舗</td> <td>建物及び構築物等</td> <td>宮崎県</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: right;">1百万円</td> </tr> <tr> <td>店舗</td> <td>リース資産等</td> <td>鹿児島県</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: right;">2百万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小の単位として、店舗ごとに資産のグルーピングをしております。</p> <p>営業活動から生じる損益が継続してマイナスとなっている店舗や土地の時価の下落が著しい店舗等を対象とし、回収可能価額が帳簿価額を下回るものについて当該帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減少額を減損損失として特別損失に計上しております。</p> <p>(2) 減損損失の金額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>固定資産の種類</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建物及び構築物</td> <td style="text-align: right;">1百万円</td> </tr> <tr> <td>工具、器具及び備品</td> <td style="text-align: right;">0百万円</td> </tr> <tr> <td>リース資産</td> <td style="text-align: right;">2百万円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">4百万円</td> </tr> </tbody> </table>	用途	種類	場所	件数	金額	店舗	建物及び構築物等	宮崎県	1	1百万円	店舗	リース資産等	鹿児島県	2	2百万円	固定資産の種類	金額	建物及び構築物	1百万円	工具、器具及び備品	0百万円	リース資産	2百万円	合計	4百万円	<p>5 減損損失について</p> <p>(1) 概要</p> <p>減損損失の内容は次のとおりであります。</p> <p>当連結会計年度において、以下の資産について減損損失を計上しております。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>用途</th> <th>種類</th> <th>場所</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>店舗</td> <td>建物及び構築物</td> <td>宮崎県</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: right;">19百万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小の単位として、店舗ごとに資産のグルーピングをしております。</p> <p>営業活動から生じる損益が継続してマイナスとなっている店舗や土地の時価の下落が著しい店舗等を対象とし、回収可能価額が帳簿価額を下回るものについて当該帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減少額を減損損失として特別損失に計上しております。</p> <p>(2) 減損損失の金額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>固定資産の種類</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建物及び構築物</td> <td style="text-align: right;">19百万円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">19百万円</td> </tr> </tbody> </table>	用途	種類	場所	件数	金額	店舗	建物及び構築物	宮崎県	1	19百万円	固定資産の種類	金額	建物及び構築物	19百万円	合計	19百万円
用途	種類	場所	件数	金額																																						
店舗	建物及び構築物等	宮崎県	1	1百万円																																						
店舗	リース資産等	鹿児島県	2	2百万円																																						
固定資産の種類	金額																																									
建物及び構築物	1百万円																																									
工具、器具及び備品	0百万円																																									
リース資産	2百万円																																									
合計	4百万円																																									
用途	種類	場所	件数	金額																																						
店舗	建物及び構築物	宮崎県	1	19百万円																																						
固定資産の種類	金額																																									
建物及び構築物	19百万円																																									
合計	19百万円																																									
<p>(3) 回収可能価額の算定方法</p> <p>回収可能価額は使用価値により測定し、将来キャッシュ・フローを2.43%の割引率で割り引いて計算しております。</p>	<p>(3) 回収可能価額の算定方法</p> <p>回収可能価額は正味売却価額により測定し、<u>固定資産評価額を基に算出しております。</u></p>																																									

【訂正前】26ページ

(連結株主資本等変動計算書関係)

当連結会計年度(自 平成21年6月1日 至 平成22年5月31日)

3 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
平成21年8月27日 定時株主総会	普通株式	297	15.00	平成21年5月31日	平成21年8月28日

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成22年8月26日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	455	23.00	平成22年5月31日	平成22年8月27日

【訂正後】

(連結株主資本等変動計算書関係)

当連結会計年度(自 平成21年6月1日 至 平成22年5月31日)

3 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
平成21年8月27日 定時株主総会	普通株式	297	15.00	平成21年5月31日	平成21年8月28日

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成22年8月30日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	455	23.00	平成22年5月31日	平成22年8月31日

【訂正前】28ページ

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 平成20年 6月 1日 至 平成21年 5月31日)		当連結会計年度 (自 平成21年 6月 1日 至 平成22年 5月31日)	
1株当たり純資産額	1,009円77銭	1株当たり純資産額	<u>1,217円06銭</u>
1株当たり当期純利益	143円52銭	1株当たり当期純利益	<u>222円27銭</u>

(注) 算定上の基礎

1. 1株当たり純資産額

	前連結会計年度末 (平成21年 5月31日)	当連結会計年度末 (平成22年 5月31日)
純資産の部の合計額 (百万円)	19,993	<u>24,097</u>
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	-	-
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	19,993	<u>24,097</u>
期末の普通株式の数 (株)	19,800,104	19,800,037

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益

	前連結会計年度 (自 平成20年 6月 1日 至 平成21年 5月31日)	当連結会計年度 (自 平成21年 6月 1日 至 平成22年 5月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益 (百万円)	2,841	<u>4,401</u>
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	-	-
普通株式に係る当期純利益 (百万円)	2,841	<u>4,401</u>
普通株式の期中平均株式数 (株)	19,800,104	19,800,083

【訂正後】

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 平成20年 6月 1日 至 平成21年 5月31日)		当連結会計年度 (自 平成21年 6月 1日 至 平成22年 5月31日)	
1株当たり純資産額	1,009円77銭	1株当たり純資産額	<u>1,232円78銭</u>
1株当たり当期純利益	143円52銭	1株当たり当期純利益	<u>238円00銭</u>

(注) 算定上の基礎

1. 1株当たり純資産額

	前連結会計年度末 (平成21年 5月31日)	当連結会計年度末 (平成22年 5月31日)
純資産の部の合計額 (百万円)	19,993	<u>24,409</u>
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	-	-
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	19,993	<u>24,409</u>
期末の普通株式の数 (株)	19,800,104	19,800,037

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益

	前連結会計年度 (自 平成20年 6月 1日 至 平成21年 5月31日)	当連結会計年度 (自 平成21年 6月 1日 至 平成22年 5月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益 (百万円)	2,841	<u>4,712</u>
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	-	-
普通株式に係る当期純利益 (百万円)	2,841	<u>4,712</u>
普通株式の期中平均株式数 (株)	19,800,104	19,800,083

【訂正前】29ページ

5. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成21年5月31日)	当事業年度 (平成22年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,646	15,646
売掛金	32	31
商品	16,355	18,619
貯蔵品	77	91
前払費用	626	735
繰延税金資産	365	423
未収入金	1,460	1,115
その他	322	244
貸倒引当金	0	-
流動資産合計	32,886	36,907
固定資産		
有形固定資産		
建物	14,158	16,523
減価償却累計額	2,698	3,467
建物(純額)	11,459	13,056
構築物	2,603	2,978
減価償却累計額	1,002	1,328
構築物(純額)	1,601	1,650
機械及び装置	328	334
減価償却累計額	166	211
機械及び装置(純額)	162	123
車両運搬具	16	16
減価償却累計額	13	9
車両運搬具(純額)	2	6
工具、器具及び備品	1,346	1,938
減価償却累計額	911	1,145
工具、器具及び備品(純額)	435	793
土地	3,510	4,033
リース資産	1,175	1,987
減価償却累計額	135	442
リース資産(純額)	1,040	1,544
建設仮勘定	743	317
有形固定資産合計	18,954	21,526
無形固定資産		
商標権	2	2
ソフトウェア	357	421
リース資産	53	41
電話加入権	17	17
無形固定資産合計	430	483
投資その他の資産		
投資有価証券	12	13
関係会社株式	20	20
長期前払費用	1,099	1,146

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成21年 5月31日)	当事業年度 (平成22年 5月31日)
繰延税金資産	241	269
建設協力金	3,875	3,998
敷金及び保証金	7,110	7,974
その他	1	183
投資その他の資産合計	12,360	13,604
固定資産合計	31,746	35,614
資産合計	64,632	72,522
負債の部		
流動負債		
買掛金	28,890	31,635
1年内返済予定の長期借入金	2,549	2,825
リース債務	253	371
未払金	1,426	1,795
未払費用	2,132	1,555
未払法人税等	1,491	2,625
未払消費税等	14	434
預り金	177	130
前受収益	42	31
店舗閉鎖損失引当金	16	12
その他	34	17
流動負債合計	37,029	41,434
固定負債		
長期借入金	6,350	5,334
リース債務	902	1,323
退職給付引当金	130	220
その他	550	550
固定負債合計	7,934	7,429
負債合計	44,963	48,863
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,178	4,178
資本剰余金		
資本準備金	4,610	4,610
資本剰余金合計	4,610	4,610
利益剰余金		
利益準備金	7	7
その他利益剰余金		
別途積立金	300	300
固定資産圧縮積立金	32	26
繰越利益剰余金	10,773	14,768
利益剰余金合計	11,112	15,101
自己株式	234	234
株主資本合計	19,666	23,656
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1	2
評価・換算差額等合計	1	2
純資産合計	19,668	23,658
負債純資産合計	64,632	72,522

【訂正後】

5. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成21年5月31日)	当事業年度 (平成22年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,646	15,646
売掛金	32	31
商品	16,355	19,207
貯蔵品	77	91
前払費用	626	735
繰延税金資産	365	441
未収入金	1,460	1,115
その他	322	244
貸倒引当金	0	-
流動資産合計	32,886	37,513
固定資産		
有形固定資産		
建物	14,158	16,523
減価償却累計額	2,698	3,467
建物(純額)	11,459	13,056
構築物	2,603	2,978
減価償却累計額	1,002	1,328
構築物(純額)	1,601	1,650
機械及び装置	328	334
減価償却累計額	166	211
機械及び装置(純額)	162	123
車両運搬具	16	16
減価償却累計額	13	9
車両運搬具(純額)	2	6
工具、器具及び備品	1,346	1,938
減価償却累計額	911	1,145
工具、器具及び備品(純額)	435	793
土地	3,510	4,033
リース資産	1,175	1,987
減価償却累計額	135	442
リース資産(純額)	1,040	1,544
建設仮勘定	743	317
有形固定資産合計	18,954	21,526
無形固定資産		
商標権	2	2
ソフトウェア	357	421
リース資産	53	41
電話加入権	17	17
無形固定資産合計	430	483
投資その他の資産		
投資有価証券	12	13
関係会社株式	20	20
長期前払費用	1,099	1,146

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成21年 5月31日)	当事業年度 (平成22年 5月31日)
繰延税金資産	241	269
建設協力金	3,875	3,998
敷金及び保証金	7,110	7,974
その他	1	183
投資その他の資産合計	12,360	13,604
固定資産合計	31,746	35,614
資産合計	64,632	73,128
負債の部		
流動負債		
買掛金	28,890	31,635
1年内返済予定の長期借入金	2,549	2,825
リース債務	253	371
未払金	1,426	1,795
未払費用	2,132	1,555
未払法人税等	1,491	2,920
未払消費税等	14	434
預り金	177	130
前受収益	42	31
店舗閉鎖損失引当金	16	12
その他	34	17
流動負債合計	37,029	41,729
固定負債		
長期借入金	6,350	5,334
リース債務	902	1,323
退職給付引当金	130	220
その他	550	550
固定負債合計	7,934	7,429
負債合計	44,963	49,158
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,178	4,178
資本剰余金		
資本準備金	4,610	4,610
資本剰余金合計	4,610	4,610
利益剰余金		
利益準備金	7	7
その他利益剰余金		
別途積立金	300	300
固定資産圧縮積立金	32	26
繰越利益剰余金	10,773	15,079
利益剰余金合計	11,112	15,412
自己株式	234	234
株主資本合計	19,666	23,967
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1	2
評価・換算差額等合計	1	2
純資産合計	19,668	23,969
負債純資産合計	64,632	73,128

【訂正前】32ページ

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 平成20年6月1日 至 平成21年5月31日)	当事業年度 (自 平成21年6月1日 至 平成22年5月31日)
売上高	177,751	205,381
売上原価		
商品期首たな卸高	14,669	16,355
当期商品仕入高	144,331	168,211
合計	159,001	184,567
商品他勘定振替高	907	40
商品期末たな卸高	16,355	18,619
商品売上原価	141,737	165,907
売上総利益	36,013	39,474
販売費及び一般管理費	30,928	32,543
営業利益	5,084	6,930
営業外収益		
受取利息	108	103
受取手数料	257	310
不動産賃貸料	273	322
協賛金収入	92	73
固定資産受贈益	144	268
その他	223	308
営業外収益合計	1,099	1,387
営業外費用		
支払利息	130	141
不動産賃貸原価	142	135
その他	20	29
営業外費用合計	293	306
経常利益	5,890	8,011
特別利益		
固定資産売却益	2	0
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産売却損	3	-
固定資産除却損	15	14
たな卸資産評価損	866	-
賃貸借契約解約損	6	-
店舗閉鎖損失引当金繰入額	-	12
減損損失	4	19
特別損失合計	895	46
税引前当期純利益	4,997	7,965
法人税、住民税及び事業税	2,466	3,764
法人税等調整額	122	85
法人税等合計	2,343	3,678
当期純利益	2,653	4,286

【訂正後】

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 平成20年6月1日 至 平成21年5月31日)	当事業年度 (自 平成21年6月1日 至 平成22年5月31日)
売上高	177,751	205,381
売上原価		
商品期首たな卸高	14,669	16,355
当期商品仕入高	144,331	168,211
合計	159,001	184,567
商品他勘定振替高	907	40
商品期末たな卸高	16,355	19,207
商品売上原価	141,737	165,319
売上総利益	36,013	40,062
販売費及び一般管理費	30,928	32,543
営業利益	5,084	7,518
営業外収益		
受取利息	108	103
受取手数料	257	310
不動産賃貸料	273	322
協賛金収入	92	73
固定資産受贈益	144	268
その他	223	308
営業外収益合計	1,099	1,387
営業外費用		
支払利息	130	141
不動産賃貸原価	142	135
その他	20	29
営業外費用合計	293	306
経常利益	5,890	8,599
特別利益		
固定資産売却益	2	0
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産売却損	3	-
固定資産除却損	15	14
たな卸資産評価損	866	-
賃貸借契約解約損	6	-
店舗閉鎖損失引当金繰入額	-	12
減損損失	4	19
特別損失合計	895	46
税引前当期純利益	4,997	8,553
法人税、住民税及び事業税	2,466	4,059
法人税等調整額	122	103
法人税等合計	2,343	3,955
当期純利益	2,653	4,597

(3) 株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	前事業年度		当事業年度	
	(自	平成20年6月1日	(自	平成21年6月1日
	至	平成21年5月31日)	至	平成22年5月31日)
株主資本				
資本金				
前期末残高		4,178		4,178
当期末残高		4,178		4,178
資本剰余金				
資本準備金				
前期末残高		4,610		4,610
当期末残高		4,610		4,610
資本剰余金合計				
前期末残高		4,610		4,610
当期末残高		4,610		4,610
利益剰余金				
利益準備金				
前期末残高		7		7
当期末残高		7		7
その他利益剰余金				
別途積立金				
前期末残高		300		300
当期末残高		300		300
固定資産圧縮積立金				
前期末残高		38		32
当期変動額				
固定資産圧縮積立金の取崩		6		5
当期変動額合計		6		5
当期末残高		32		26
繰越利益剰余金				
前期末残高		8,310		10,773
当期変動額				
剰余金の配当		198		297
固定資産圧縮積立金の取崩		6		5
当期純利益		2,653		4,286
当期変動額合計		2,462		3,994
当期末残高		10,773		14,768
利益剰余金合計				
前期末残高		8,656		11,112
当期変動額				
剰余金の配当		198		297
固定資産圧縮積立金の取崩		-		-
当期純利益		2,653		4,286
当期変動額合計		2,455		3,989
当期末残高		11,112		15,101
自己株式				
前期末残高		234		234
当期変動額				
自己株式の取得		-		0

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 平成20年6月1日 至 平成21年5月31日)	当事業年度 (自 平成21年6月1日 至 平成22年5月31日)
当期変動額合計	-	0
当期末残高	234	234
株主資本合計		
前期末残高	17,211	19,666
当期変動額		
剰余金の配当	198	297
当期純利益	2,653	4,286
自己株式の取得	-	0
当期変動額合計	2,455	3,989
当期末残高	19,666	23,656
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	3	1
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	1	0
当期変動額合計	1	0
当期末残高	1	2
評価・換算差額等合計		
前期末残高	3	1
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	1	0
当期変動額合計	1	0
当期末残高	1	2
純資産合計		
前期末残高	17,214	19,668
当期変動額		
剰余金の配当	198	297
当期純利益	2,653	4,286
自己株式の取得	-	0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	1	0
当期変動額合計	2,453	3,989
当期末残高	19,668	23,658

【訂正後】

(3) 株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	前事業年度		当事業年度	
	(自 至	平成20年6月1日 平成21年5月31日)	(自 至	平成21年6月1日 平成22年5月31日)
株主資本				
資本金				
前期末残高		4,178		4,178
当期末残高		4,178		4,178
資本剰余金				
資本準備金				
前期末残高		4,610		4,610
当期末残高		4,610		4,610
資本剰余金合計				
前期末残高		4,610		4,610
当期末残高		4,610		4,610
利益剰余金				
利益準備金				
前期末残高		7		7
当期末残高		7		7
その他利益剰余金				
別途積立金				
前期末残高		300		300
当期末残高		300		300
固定資産圧縮積立金				
前期末残高		38		32
当期変動額				
固定資産圧縮積立金の取崩		6		5
当期変動額合計		6		5
当期末残高		32		26
繰越利益剰余金				
前期末残高		8,310		10,773
当期変動額				
剰余金の配当		198		297
固定資産圧縮積立金の取崩		6		5
当期純利益		2,653		4,597
当期変動額合計		2,462		4,306
当期末残高		10,773		15,079
利益剰余金合計				
前期末残高		8,656		11,112
当期変動額				
剰余金の配当		198		297
固定資産圧縮積立金の取崩		-		-
当期純利益		2,653		4,597
当期変動額合計		2,455		4,300
当期末残高		11,112		15,412
自己株式				
前期末残高		234		234
当期変動額				
自己株式の取得		-		0

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 平成20年6月1日 至 平成21年5月31日)	当事業年度 (自 平成21年6月1日 至 平成22年5月31日)
当期変動額合計	-	0
当期末残高	234	234
株主資本合計		
前期末残高	17,211	19,666
当期変動額		
剰余金の配当	198	297
当期純利益	2,653	4,597
自己株式の取得	-	0
当期変動額合計	2,455	4,300
当期末残高	19,666	23,967
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	3	1
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	1	0
当期変動額合計	1	0
当期末残高	1	2
評価・換算差額等合計		
前期末残高	3	1
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	1	0
当期変動額合計	1	0
当期末残高	1	2
純資産合計		
前期末残高	17,214	19,668
当期変動額		
剰余金の配当	198	297
当期純利益	2,653	4,597
自己株式の取得	-	0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	1	0
当期変動額合計	2,453	4,300
当期末残高	19,668	23,969